

日本、AIチップ新興企業EdgeCortexを支援―防衛技術の強化へ



2025年5月に東京で開催されたDSEI 2025イベントでのEdgeCortexブースの来場者たち

東京に本拠を置く人工知能(AI)チップのスタートアップ企業であるEdgeCortexは、防衛用途を視野に入れた日本の半導体産業の育成に向けた関心の高まりを追い風にしている。

米国国防総省と関連する契約を獲得したEdgeCortexは、水曜日に2027年の商業化を目指した省エネルギー型AIチップレットの開発に向けて、30億円(2,100万ドル)の政府補助金を獲得した。この

契約により、今年の収益が2倍以上に増加する可能性がある」と、創業者のサキャシング・ダスグプタ氏は述べた。

これらの製品は、ロボットがリアルタイムで意思決定を行えるよう支援し、日本の労働力不足を補うことを目的として設計されており、台湾積体回路製造(TSMC)の日本工場での量産を目指している。今回の補助金は、EdgeCortexが次世代通信システム向けチップの開発のために昨年11月に獲得した40億円の支援に上乗せされる形となっている。

経済産業省が支援する研究機関からのこれらの資金は、日本が軍民両用技術を積極的に受け入れつつある姿勢を反映している。三菱電機のような大手企業から、Terra Laboのようなスタートアップまで、多くの企業が防衛省の防衛力強化プログラムの下で、弾道ミサイルの追跡をサポートする衛星コンステレーション技術の強化に取り組んでいる。一方で、自衛隊は監視システムの高度化を図るため、AI提供企業の活用を進めている。

ダスグプタ氏によると、EdgeCortexはこれまでに約3,700万ドルの資金を調達しており、ロボットがクラウドを利用せずに情報を処理できるプログラマブルなアーキテクチャを持つチップレットを開発している。これは、医療分野のように高度なカスタマイズが求められる場面や、データ伝送コストが高い環境において、電力の節約につながると同氏はインタビューで語った。

「当社のエネルギー効率に優れたAI技術は、地上システムから航空プラットフォームや宇宙に至るまで、さまざまな領域でのソリューションに活用できます。これは、国家と世界の安全保障のためのエッジAIソリューションの進展に貢献します。」とダスグプタ氏は述べた。

Translation prepared by EdgeCortex

- The Japan Times (2025/05/28). Original English article:
<https://www.japantimes.co.jp/business/2025/05/28/companies/ai-chip-startup-defense-tech/>
- Copyrights and other intellectual property rights to articles, headlines, and other information (hereinafter referred to as "Information") provided through the Service belongs to the providers of such Information.
- Unauthorized reproduction of Information provided by this service is prohibited.
- The service may not be used by any other third party, other than the subscriber, regardless of the method, with or without compensation.
- Copyright © 2025 THE JAPAN TIMES LTD. ALL RIGHTS RESERVED.